

令和4年度三重大学国際交流事業実施報告書作成要領

事業実施後は、次の実施報告書を国際交流チームに提出してください。

- 1) 様式2-1 実施報告書（学内版）
- 2) 様式2-2 事業の取組結果
- 3) 様式2-3 事業に係る経費執行結果
- 4) 様式2-4-J 実施報告書（一般公開：日本語版）
- 5) 様式2-4-E 実施報告書（一般公開：英語版）

令和4年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：国際交流センター

事業担当者の職・氏名：栗田 聡子

内線電話番号：9203

電子メール：skurita@cie.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

オンラインによる IELTS 集中講座開催に対する助成

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要

2月15日～18日の4日間、交換留学や将来の大学院留学に興味を持つ21名の学生を対象に、最低限度必要なIELTS 6.0の取得を目標にした集中講義を開催した。指導は、パークレーハウス(株)に委託し、学生が苦手なWritingとSpeakingも含めた4科目(技能)を指導いただいた。講座の初日に参加者の自己紹介と交流会、最終日に交換留学を経験した在学生を招いての交換留学説明会と交流会を実施した。この事業は、本学では初めての取り組みである。

(2) 事業の背景・これまでの実績

①12月末の時点で、国際交流事業の予算が、コロナ等の理由から計約29万円の残金があった。(12万円「コロナ禍におけるオンライン海外研修の参加費用に対する助成」(代表:栗田)17万円「ベトナム・フィールド・スタディ」(代表:松岡先生))②交換留学に必要な英語資格試験であるIELTSやTOEFLを受験したい、集中講座に参加したい学生が多いことが判明していた。(12月に実施したアンケート調査結果から)

(3) 事業実施結果

■参加者:計21名(学部生18名・大学院生3名)

学部生18名:人文学部8名・工学部5名・生資学部4名・医学部1名
1年3名・2年4名・3年7名・4年4名
院生3名:生資研究科2名(M/D1名づつ)・地域イノベ1名

■交換留学体験者:平賀友里奈(人文4名)IELTSのアドバイス

■費用(参加者):約9,000円

テキスト代 約3,000円 progress check代(online)約6,000円

■指導(株)パークレーハウス 講師2名(Listening & Speaking, Reading & Writing)



リスニング授業の様様

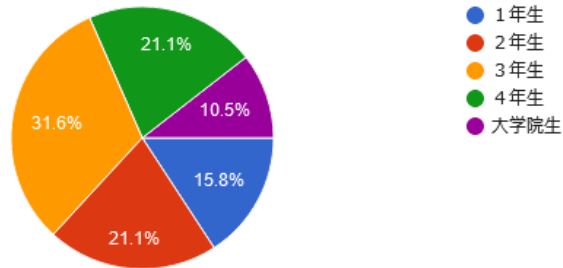


平賀さんによるIELTSアドバイス

■事後アンケート (N=19)

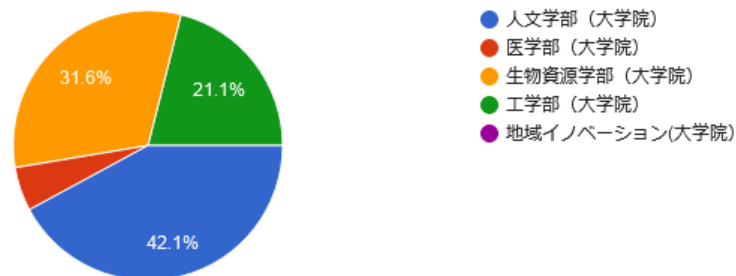
学年等についてお答えください。

19件の回答



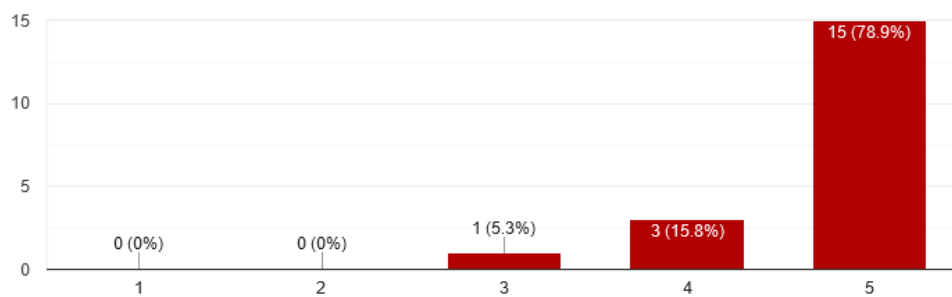
所属についてお答えください。

19件の回答



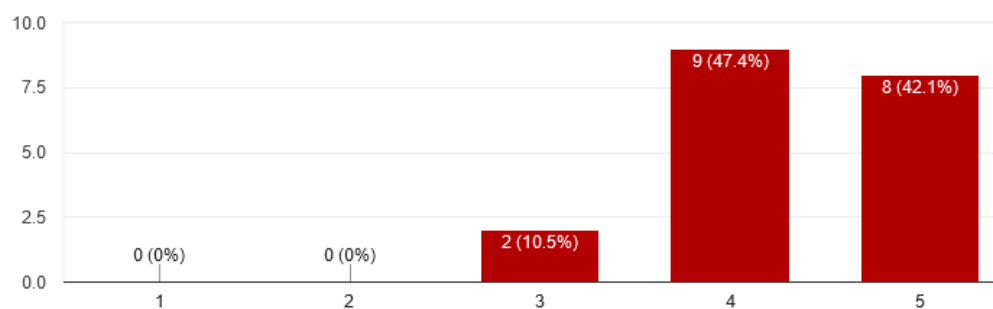
全般的に、今回のIELTS集中講座に、参加して良かったと思いますか？

19件の回答



全般的に、今回のIELTS集中講座に参加して、楽しかったですか？

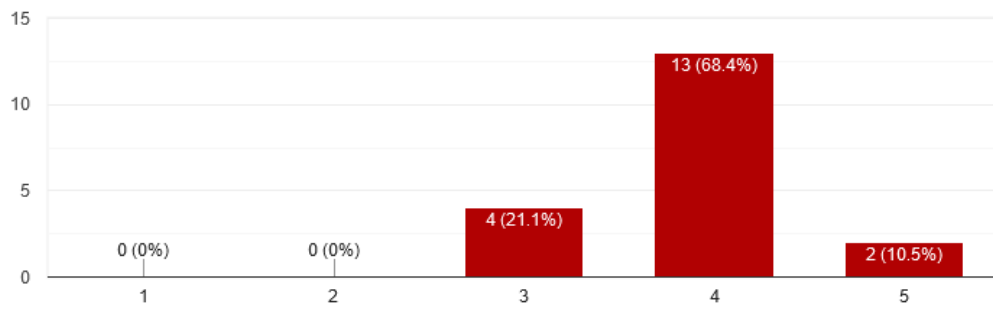
19件の回答



全般的に、今回のIELTS集中講座で、ご自分の英語能力は向上したと思いますか？



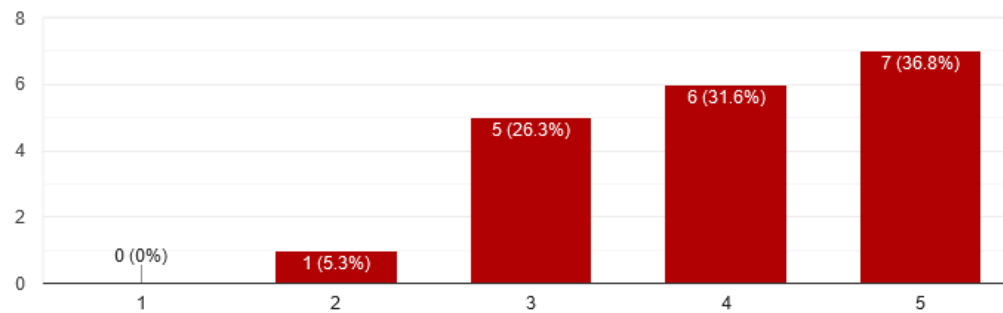
19件の回答



今回のIELTS集中講座に参加して、留学への興味は増しましたか？



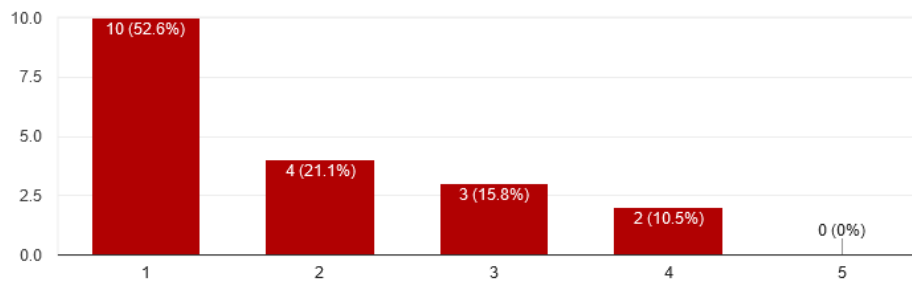
19件の回答



今回のIELTS集中講座の費用（9,000円）は高かったと思いますか？

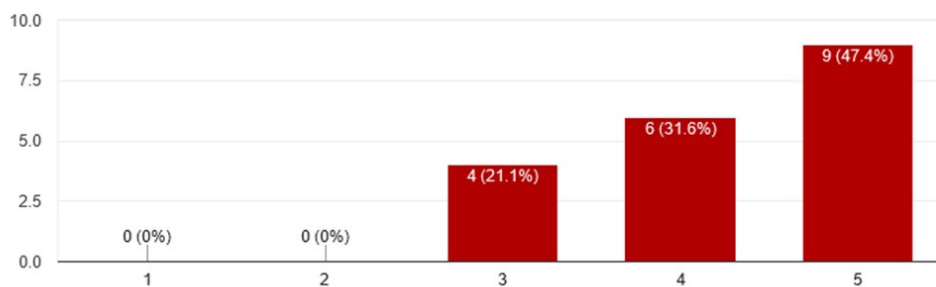


19件の回答



今後、IELTS集中講座の受講を後輩や友人に勧めたいと思いますか？

19件の回答



Q. 各セクションの内容は難しかったですか？ TOEIC 低群 > 高群

1=全く難しくなかった 5=大変難しかった

	Reading	Listening	Speaking	Writing	Average
TOEIC 低群	3.6	3.7	4.4	4.1	4.0
TOEIC 高群	2.9	3.3	3.4	3.6	3.3
Average	3.3	3.5	3.9	3.9	3.7

TOEIC 低群=435~655 (9名) 高群=700~840 (10名)

Q. 各セクションの内容に満足しましたか？ TOEIC 低群 > 高群

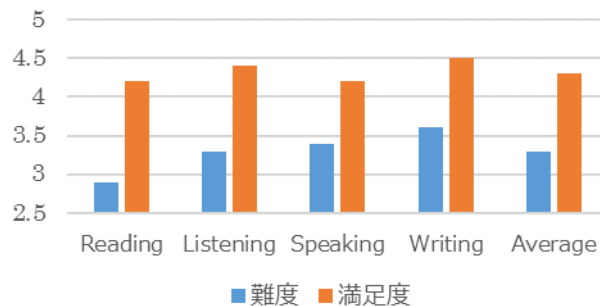
1=全く満足しなかった 5=大変満足した

	Reading	Listening	Speaking	Writing	Average
TOEIC 低群	4.6	4.7	4.3	4.6	4.6
TOEIC 高群	4.2	4.4	4.2	4.5	4.3
Average	4.4	4.6	4.3	4.6	4.5

講座の難度と満足度：TOEIC 低群



講座の難度と満足度：TOEIC 高群



- 上記2つのグラフは、TOEIC レベル（低群・高群）で主観的な難度に差が見られたが、満足度においては大きな差がなかったことを示している。
- 主観的難度において TOEIC 高低群の差が最も顕著であったのは、Speaking であった。低群にとって、Speaking クラスは難しく、満足度が最も低いことがわかった。

(4) 事業の意義

アンケートからもわかるとおり、本事業の実施目的である「留学に必要な英語資格試験 IELTS の理解と向上」をほぼ達成することができた。参加者は受講前に IELTS テストを受けていないことから客観的な向上は測定できていない。だが、殆どの参加者が高い満足感と留学に対する興味を増加を報告している。コメントからは、交流会を通じて「同じ目標を共有する仲間」を得たことで、モチベーションが高まったとの報告も多かった。以上から、本学で初めての試みであった本事業は、参加者にとって意義深いものとなったと言える。

(5) 事業の発展性

次年度は、交換留学を考慮した場合タイミングが良い夏休み中に実施することができたらと検討している。また、英語能力の差で授業の主観的難度に差が出たことから、余裕があれば英語レベルで2クラス開講することができれば理想的である。多くの大学では、夏と春期2回、IELTS（もしくは TOEFL）の特別講座を5日間（15コマ）で開催している。コロナ禍が長引き、短期留学が実施できない状況下であれば、予算的に年2回の実施は無理でも、5日間（15コマ）で開催したい。TOEIC は特に理系での就職出願が必要であるらしいが、TOEIC では真の英語力を測ることは難しい。将来的には、共通教育の英語クラスに組み込むなど、多くの学生が IELTS の授業を受けるようにしてほしい。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

本事業は、中期目標の一つである「世界で活躍できるグローバル人材の育成」に直結した内容である。2021年度はコロナ禍のため留学が困難な状況にあり、海外渡航学生数を増やすことができなかった。2022年度以降の交換留学や将来の海外勤務を目指すためには、IELTS での高得点が必要である。彼らのモチベーション維持のためにも、本事業の実施は中期目標・計画に沿ったものであると言える。

(7) その他

令和4年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

2月15日（火）～2/18（金）の4日間、オンラインによるIELTS春期集中講座を開催し、21名の学生（学部生18名、大学院生3名）が参加しました。

IELTSとは、International English Language Testing Systemの略で、英語熟練度を測る英語検定の1つです。英語圏（特に英国）の交換留学を目指す学生は、通常IELTS6.0以上、大学院留学を目指す学生は、7.0が必要です。

12月に国際交流センターが実施したアンケートで、留学に必要な英語を勉強したい、と強く希望する学生が多いことがわかり、2月に向けてIELTSの集中講座を初企画しました。(株)バークレーハウス語学センターの講師2名による指導の下、交換留学や海外大学院への進学、将来に向けて英語学習をしたいという学生が4日間、午前9時から午後3時まで真剣に取り組みました。

講座では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの全ての技能において、IELTSでの得点の伸ばし方や解答のマル秘テクニックを存分に指導してもらいました。



リスニング授業の様様

講座終了後のアンケートには、「実際のテスト対策につながるような内容が良かった」、「特にライティングの添削が丁寧に書かれていて勉強になった」、「大学の英語カリキュラムの中に作って欲しいと思う程充実した4日間でした」「研究活動に必要な能力なので、低学年のうちに履修できればなお良かった」等、とても充実した内容が伺える結果となりました。

また、初日と最終日に行われた交流会&留学説明会では、自由に発言し和気あいあいとした雰囲気の中、各参加者が持つ留学や英語に関する情報をシェア。同じ目標に向かって頑張る仲間を見つけて連絡を取り合い、「一緒に英語で会話をしよう！」と新たな友情が芽生えた一面もあったようです。

最終日には担当者から短期・長期留学に関する情報だけでなく、オーストラリアのタスマニア大学への交換留学を果たした平賀友里奈さん（人文学部4年）にも参加していただきました。IELTSの点数を伸ばすアドバイスや留学経験の話もあり、様々な質問が飛び交う有意義な時間となりました。

今後も、国際交流センターはコロナ禍で海外留学を希望している学生の皆さんを様々なプログラムで応援していきます！

令和4年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

The online IELTS Spring Intensive Course was held for four days from Tuesday, February 15 to Friday, February 18, with 21 students (18 undergraduate and 3 graduate students) participating.

IELTS stands for International English Language Testing System and is one of the English language tests to measure English proficiency. Students who wish to study abroad in English-speaking countries (especially in the U.K.) usually need to pass IELTS 6.0 or above, and those who wish to study in graduate schools need to pass IELTS 7.0.

In a survey conducted by the Center for International Exchange in December, we found that many students strongly desire to study English for study abroad, so we have planned the first intensive IELTS course for February. Under the guidance of two instructors from Berkeley House Language Center, Inc., students who wanted to study English for exchange, to enter graduate schools abroad, or for the future worked earnestly from 9:00 am to 3:00 pm for four days. In the course, the students received full instruction on how to improve their IELTS scores and secret techniques for answering the questions in all skills: listening, speaking, reading, and writing.



Listening class

The questionnaire after the course showed that the content was very fulfilling: "The content was good so that it would lead to actual test preparation," "The writing correction was especially carefully written and informative," "The four days were so fulfilling that I wish it were part of the university English curriculum," "I wish I could have taken this course in my lower grades since it is necessary for research activities," and so on.

At the exchange and study-abroad information sessions held on the first and last days, participants freely shared information about study abroad and English in a friendly atmosphere. They found friends who are working hard toward the same goal and kept in touch with them, saying, "Let's speak English together! It seems that new friendships were formed.

On the last day of the event, the staff not only provided information on short-term and long-term study abroad, but also invited Ms. Yurina Hiraga (4th year, Faculty of Humanities), who studied abroad at the University of Tasmania in Australia, to participate in the event.

The event was a great success. The Center for International Exchange will continue to support students who wish to study abroad at Corona Disaster through various programs!